



Swimming



Soccer



American Football



Baseball

SSI

Sports Science Institute

スポーツ能力の向上とキャリア形成を両立

スポーツ推薦入学試験
受験希望者用広報誌

2024



自由と進歩
法政大学



学部・学科の専門知識と

スポーツの専門知識を同時に追求

スポーツ・サイエンス・インスティテュート (SSI) とは、SSI 参加学部 (下記参照) に所属し、当該学部の専門科目を学ぶと同時に、SSI 生のために用意された SSI 科目 (スポーツ関連科目) を学ぶことができる主にスポーツ推薦入学者を対象とした特別プログラムです。

スポーツを科学的・文化的に捉えると同時に学部の専門分野を追求し、知識の融合を図ることで高度なスポーツ文化の担い手を育成します。

SSI に参加するためには

下記【1】および【2】の条件をすべて満たす必要があります。

- 【1】「**スポーツ推薦入学試験**」に合格し、**SSI 参加学部・学科へ入学すること。**
- 【2】**入学手続き時に、SSI への参加を希望すること (注意) 入学手続き後はいかなる理由でも、SSI への参加を撤回することはできません。**

※スポーツ特待生は、スポーツ推薦入学試験以外の入学試験に合格した場合でも、SSI に参加できる場合があります。

◎ SSI 参加学部 (2022年度)

法学部全学科、文学部全学科、経済学部 (経済学科・現代ビジネス学科)、社会学部全学科、経営学部全学科、国際文化学部国際文化学科、人間環境学部人間環境学科、現代福祉学部全学科、キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科、デザイン工学部システムデザイン学科

◎ スポーツ推薦入試実施の体育会 (2022年度)

アメリカンフットボール部、ボクシング部、自転車競技部、サッカー部、水泳部、スキー部、スケート部、相撲部、ハンドボール部、卓球部、テニス部、ソフトテニス部、野球部、準硬式野球部、馬術部、バレーボール部、陸上ホッケー部、ヨット部、バスケットボール部、ラグビー部、陸上競技部、フェンシング部、空手部、バドミントン部、柔道部、重量挙げ部、レスリング部、剣道部、射撃部、ボート部、ゴルフ部、弓道部

SSI のカリキュラムの特長

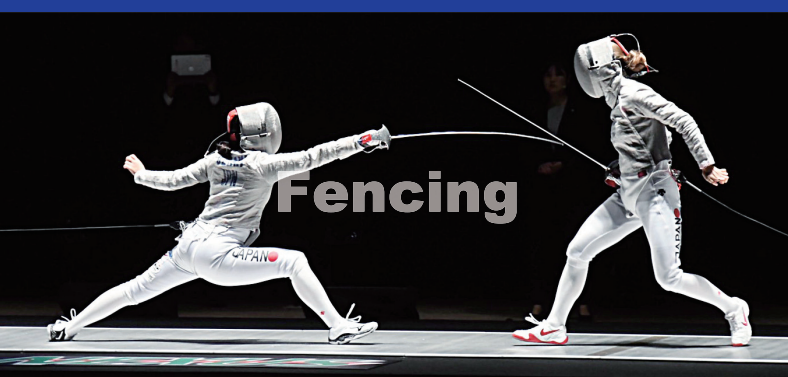
◎ スポーツ関連科目を学べる

SSI 生は一般の学生が履修できない「SSI 科目」と呼ばれるスポーツ関連科目を学ぶことができます。卒業に必要な単位の約 3 分の 1 を SSI 科目で履修することができます。SSI 科目を学ぶことで、在学時の体育会活動に役立てられるだけでなく、卒業後にスポーツ指導やスポーツビジネスに携わるための専門知識を修得することができます。

◎ 所属学部の専門科目も学べる

SSI 科目だけでなく所属学部の専門科目もしっかりと学ぶことができます。卒業に必要な単位の約半数は所属学部の専門科目で履修することになります。両方を学ぶことにより、卒業後の進路選択の可能性が大いに広がります。

Sports Science Institute



SSI生のカリキュラムイメージ

卒業

SSI 科目	■SSI基礎科目	■SSI専門科目	■SSI専門科目	■SSI専門科目	■SSI専門科目
	コーチング学Ⅰ コーチング学Ⅱ スポーツ医学 スポーツ心理学 トレーニング科学 スポーツマネジメント スポーツ学入門 解剖生理学	スポーツ整形外科学 アスリートヘルスマネジメント論 トップアスリート論 補完代替医療論 スポーツ文化論 スポーツ栄養学 ハイパフォーマンス栄養学	コンディショニング科学 機能解剖とリハビリテーション スポーツメンタルトレーニング論 身体の測定と評価 リーダーシップ論 チームビルディング論 スポーツビジネス論	スポーツリスクマネジメント論 スポーツ法学 アスリートキャリアデザイン演習 スポーツメディア論 スポーツ産業論 スポーツマーケティング論 アスリートキャリア論	スポーツ政策論 スポーツ情報戦略論 トレーニング理論と実践 スポーツ社会学 スポーツファンシリテーション演習 スポーツ学演習 セルフケア論
一般教養 科目	所属学部で履修可能な一般教養科目を修得				
学部専門 科目	所属学部の専門科目を修得				

※ SSI 専門科目は上記以外にも、約100 科目(学部主催科目)が開設されています。
 ※上記科目は、2023年度に開講している科目であり、2024年度には一部変更になる可能性があります。

SSI 科目紹介

■スポーツ医学

スポーツ指導者に必要な医学的知識を学習する。アスリートの健康管理や救急措置、身体の仕組みと働き、アスレティックリハビリテーション、トレーニング計画など、アスリートに欠かせない身体の問題に焦点を当て、スポーツ医学分野の知識を幅広く養っていく。

■スポーツマネジメント

スポーツ振興方策の基本、スポーツ事業計画の方法や組織のあり方について理解する。また、総合型地域スポーツクラブ運営の構造や地域に対する役割について学ぶと同時に、その多様性に応じた指導方法について学生が自発的に考えられる授業とする。

■トップアスリート論

スポーツ全般の中から一流スポーツ選手や監督・コーチについて、その経歴や考え方などを取り上げ、ディスカッション形式を交えて理解を深めていく。各自が日頃取り組んでいる競技及びそれ以外の競技のトップアスリートをより深く知り、視野を広げることを目的とする。

■コーチング学Ⅰ

スポーツ指導者としての考え方や指導方法を修得すると同時に、プレーヤーと指導者双方の視点でスポーツ活動を捉える重要性について考える。プレーヤーと指導者の望ましい関係とはどういふものか。指導者に必要な知識を探求していく。

■スポーツ心理学

発育発達過程の身体的・心理的特徴やスポーツ・運動による心理的効果などメンタルマネジメントの重要性を考える。人間の発育発達過程とスポーツ行動を構成する心理的諸要因、またこれらの相互関係・構造について理解し、知識を深めていく。

教員紹介

教員名	身分	専門分野/掲載内容	教員名	身分	専門分野/掲載内容
朝比奈 茂	教授	補完代替医療学、ホリスティック医学	瀬戸 宏明	教授	スポーツ医学、整形外科学
荒井 弘和	教授	スポーツ心理学	中澤 史	教授	スポーツ心理学
泉 重樹	教授	スポーツ医学、アスレティックトレーニング	林 容市	准教授	運動生理学、生理心理学
伊藤 真紀	准教授	スポーツマネジメント、リーダーシップ、女性スポーツ	藤岡 成美	准教授	スポーツ政策、スポーツマネジメント
伊藤マモル	教授	スポーツ医学、コンディショニング	望月 拓実	専任講師	スポーツ経営学、スポーツマネジメント、スポーツ教育学
井上 尊寛	准教授	スポーツ産業、スポーツマーケティング	山田 快	教授	スポーツ心理学、スポーツコーチング学
越部 清美	准教授	舞踊教育学、体育教育学	吉田 康伸	教授	スポーツ方法学、コーチ学
杉本 龍勇	教授	スポーツ経済学、スポーツ経営学			

Sports Science Institute



Rugby



Sumo



Weightlifting

学生 INTERVIEW

卒業生



村上 喬一朗

法学部法律学科 硬式野球部
学校法人東福岡学園 東福岡高等学校

Q1. どうして法政大学に進学しようと思われましたか？

ずっと憧れていた六大学、神宮球場で野球がしたいと思っていたからです。加えて将来はプロ野球選手になりたいと考えており、法政大学で勉強と野球をすることが目標を実現する道だと感じたからです。高校ではスポーツの専門的な勉強がしたいと思っていてもできませんでした。SSIで学んだ専門的な知識を競技につなげていきたいと考えていました。

Q2. 授業と体育会活動の両立は大変ですか？

SSIだと教員の配慮もあり、部活との両立がしやすかったです。また、SSIでは一般のカリキュラムと違い、スポーツに関することを学ぶことができたため、競技について考える時間を多く取ることができました。SSIで学んだことは競技に活かされていたため、授業と競技、両方の理解を深めることができました。

Q3. SSIで好きな科目はありますか？

スポーツ心理学とアスリート育成指導法(コーチング学)です。これらの授業は、自分の競技者としてのベースを作ってくれた授業でもあり、スポーツ競技時のメンタル・自分の中の哲学を築きあげてくれました。

Q4. 卒業後はどのような進路を考えていますか？

プロ野球選手。

Q5. 受験生へのメッセージ

SSIコースで授業を学ことにより学業とスポーツの両立をしやすくなります。また、一般学生との交流を意識してほしいです。どうしても一般カリキュラムとは違うので関わる機会が減ってしまうのですが、いろいろな人と関わり、様々な知見を身につけることがきっと競技の役に立ちます。SSIで得た知識は必ず競技に活かせるので頑張ってください！



Sports Science Institute

在校生



小川 彩

社会学部 社会学科 ハンドボール部
川崎市立高津高等学校

大会実績

2022年度関東学生ハンドボール
春季リーグ2部優勝(初)

Q1. どうして法政大学に進学しようと思われましたか？

かつて自分が経験してきた環境と真逆の場所で挑戦したいという意志があったからです。私の所属する女子ハンドボール部は、創部してからまだ10年と歴史が浅く、これから部が成長していく過程で自分が先導して結果を残していきたいと考えたのもあります。また、スポーツ推薦入学者のみが受講できるSSIがあることで、勝つためや人間性を高めるために必要なことを学べるという点も自分にとってプラスが多かったからです。

Q2. 授業と体育会活動の両立は大変ですか？

SSI生は必修すべき学部専門科目が一般生より少なく、代わりにSSIの授業を取ることができるため、両立はしやすいと思います。SSIの授業では、多くの先生が工夫して各テーマを授業内で完結するようにしてくれています。普段は練習があり、常に勉強の時間を確保することが難しいため、なるべく授業時間中にその日の学習内容を理解するよう心がけています。その中でわからないことがあれば、先生方に質問してテスト期間中に勉強したり、レポートを作成しています。

Q3. SSIで好きな科目はありますか？

「人として、アスリートとして自分という存在はどうかあるべきか」を追求する科目です。特にリーダーシップ論では、チームが成功するために心理的安全性を高める必要が

あること、リーダー以上にフォロワー(リーダー以外の人)の行動がチームを変化させることを知り、部に持ち帰って共有しました。SSIでは知識を増やすだけでなく、個人やチームの成功を導くために必要なことを学ぶことができます。ここだけでは語りきれないので、入学してから楽しみにしていて欲しいです！

Q4. 卒業後はどのような進路を考えていますか？

はっきりとは決まっていませんが、スポーツ関連の仕事に就きたいと考えています。大学生活で知った、人のために役立つ仕事に就くことが目標です。今までは自分のために競技をしてきましたが、今後は人のために働ける場所を見つけたいと思っています。

Q5. 受験生へのメッセージ

私は、SSI生として入学させてもらったことに本当に感謝しています。それは家族や恩師、友人、先生方、またたくさんの方々のおかげであり、今の私がいるからです。法政大学には競技だけでなく、自分の知識や能力を高めることができる環境が整っています。自分が入学した時よりも成長できた4年間で実感できるはずですよ。“It all depends on me!”この大学4年間で良くも悪くもするも自分次第！入学を心よりお待ちしております。





Volleyball



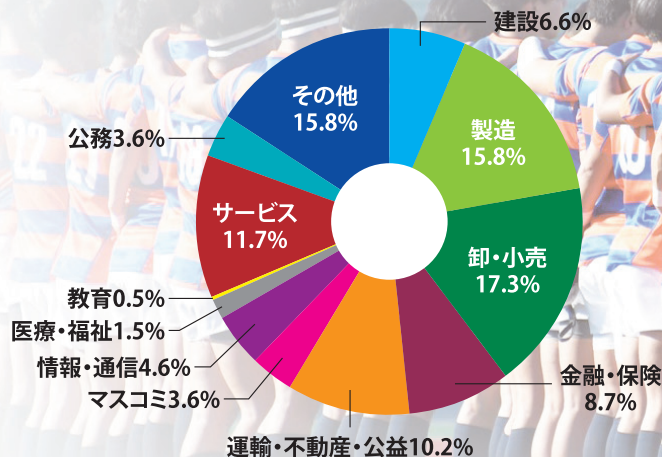
Table tennis

SSI生の多彩な進路

卒業後の進路

SSI生は学業とスポーツの両立を実践した経験を評価され、大手・優良企業に幅広く内定しています。

また、スポーツの専門知識に加えて所属する学部・学科の専門知識を学ぶため、特定の業界に特化せず、各学生の志向に合わせて業界全般にわたり就職していることも大きな特長です。



■主な就職先

オリックスバファローズ、株式会社カカコム、東京海上日動火災保険株式会社、富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）、富士通株式会社、キリンホールディングス株式会社、山崎製パン株式会社、学校法人女子美術大学、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）、株式会社エスパルス、トヨタ自動車株式会社、ヤマサ醤油株式会社、リコージャパン株式会社、学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院、花王株式会社、住友不動産販売株式会社、高松建設株式会社、株式会社ヤクルト球団、株式会社ニトリ、東北フリーブレイズ、ANA成田エアポートサービス株式会社、株式会社ノジマ、JFEスチール株式会社、レバレジーズ株式会社、公益財団法人日本オリンピック委員会、キヤノンメディカルシステムズ株式会社、株式会社オープンハウスグループ、株式会社エスパルス、地方放送局、地方市役所、警察庁、防衛省 陸上自衛隊

SSIで取得できる資格

SSIに参加することで、卒業時に（公）日本スポーツ協会公認の「コーチングアシスタント」「各種コーチ1（テニス・バレーボール）」の資格を取得することができます（取得には別途費用がかかります）。卒業後は、これらの資格を利用してスポーツの発展に貢献することが期待されます。

※上記は2023年度時点で取得できる資格です。

◎コーチングアシスタント

地域におけるスポーツグループや団体のリーダーとして、スポーツ指導や運営に当たることができます。

◎各種コーチ1（テニス・バレーボール）

地域のスポーツクラブなどで、子どもたちや初心者を対象に、各種競技の専門的知識を活かし指導に当たるための資格です。テニス、バレーボールがあり、この2つのいずれかの体育会に所属するSSI生のみ卒業と同時に資格を取得することができます。

Sports Science Institute



Ice hockey



Tennis



Athletics



Equestrian

Q & A

Q SSIは学部と何が違うのですか？

SSIは学部横断的な特別コースです。既存の学部に籍を置きながら、SSI科目(スポーツ関連科目)と所属学部の専門科目を学びます。スポーツ関連科目と学部の専門科目の両方を学べることが、SSIの魅力です。

Q SSIで学ぶためには、どの入学試験を受験すればよいのですか？

「スポーツ推薦入学試験」の合格者のみがSSIに参加することができます。ただし、スポーツ特待生はこの限りではありません。

Q SSIに参加するためには学費の他に特別な費用がかかるのですか？

特別な費用はかかりません。所属学部の学費を納めていただくだけです。

Q 卒業するとどのような学位が取得できるのですか？

所属する学部の学士が取得できます。

Q 合格した場合、必ずSSIに参加しなければならないのですか？

入学手続き時にSSIへの参加希望の有無を確認します。入学後の変更は一切できませんので、よく考えて手続きをしてください。なお、合格者のほとんどがSSIを希望しています。

Q SSIに参加すると卒業することが難しくなりますか？

卒業するために必要な総単位数は通常学生と変わりません。

Q 体育教員の免許を取得することはできますか？

SSIコースにおいては取得できません。教員免許の取得を目指す場合は、所属学部で取得可能な教科に限られます。ただし、大学院スポーツ健康学研究科に進学し、所定の単位を修得することにより、体育教員免許を取得することが可能です。

Sports Science Institute



Figure skating



Handball



Equestrian



Basketball

SSI

Sports Science Institute
スポーツ・サイエンス・インスティテュート



Athletics



Baseball

お問い合わせ

法政大学学務部学部事務課 市ヶ谷リベラルアーツ・SSI 担当
〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 大内山校舎 1階
TEL: 03-3264-5390 FAX: 03-3264-4264
HP: <http://www.hosei.ac.jp/ssi/>